

【技術の名称】 NSスパイク工法 -ねじり平鋼杭状補強材による地盤補強工法-	性能証明番号：GBRC 性能証明 第11-13号 性能証明発効日：2011年10月11日 【取得者】 株式会社日本ネットワークサポート
---	---

【技術の概要】

本技術は、らせん状にねじった平鋼を回転させながら地盤中に圧入し、これを地盤補強材として利用する技術である。本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して補強材の支持力のみを考慮することとしている。

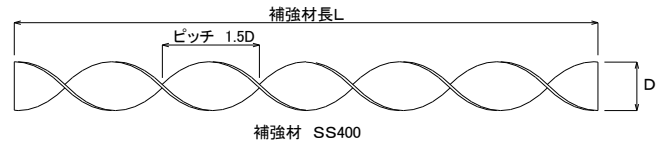


図-1 補強材の形状・構造図

【技術開発の趣旨】

本技術は、らせん状の平鋼を回転圧入することで地盤のせん断力を地盤補強材の摩擦抵抗として発揮させることができ、乾式工法であるため工期の短縮や不整地での施工性の向上が可能である。また、環境への配慮の観点から、地盤補強材に逆回転を与えることで容易に引き抜くことができ、これを再利用することが可能である。

表-1 補強材の寸法

サイズ		100 mmタイプ ¹⁾	125 mmタイプ ¹⁾	150 mmタイプ ¹⁾
呼び径	D (mm)	100	125	150
板厚	t (mm)	9.0	9.0	9.0
		12.0	12.0	12.0

表-2 補強材の最小・最大長さ

板厚	最小長さ(m)	最大長さ(m)
9 mm (全タイプ)	0.5	2.0
12 mm (全タイプ)	0.5	4.0

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「NS スパイク工法 施工基準」に従って施工された補強地盤の設計に必要な地盤補強材の地盤で決まる極限支持力は、「NS スパイク工法 設計基準」に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できると判断される。

表-3 適応地盤と平均換算 N 値

適応地盤	平均換算 N 値の範囲	
砂質土地盤	$2.0 \leq N_{savg} \leq 10.0$	$N_{savg} < 2.0$ の場合は 0 $N_{savg} > 10.0$ の場合は 10
粘性度地盤	$2.6 \leq N_{cavg} \leq 6.5$	$N_{cavg} < 2.6$ の場合は 0 $N_{cavg} > 6.5$ の場合は 6.5

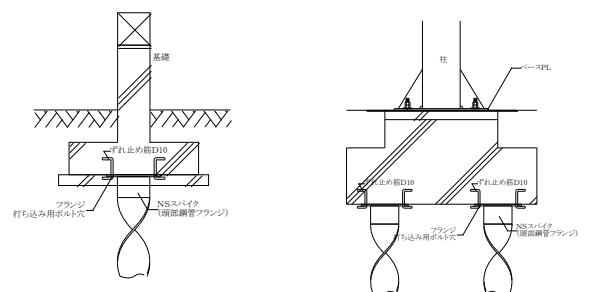


図-2 補強材頭部参考図

【本技術の問合せ先】

株式会社日本ネットワークサポート 土木建築営業部 担当者：曾根田 和光 E-mail：soneda@nnets.co.jp
 〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町三丁目 6 番 2 号 TEL：06-7506-9641 FAX：06-6264-0530